

## 事後評価シート

調査研究課題名	都市の特性からみた都市の定住傾向に関する調査研究
担 当 者	研究官 當麻雅章      研究調整官 多田智和
① 当初目標と目標達成度	<p>日本の総人口の減少の可能性と地域間人口移動の状況を背景として、都市の様々な要素や特徴とその都市にとっての魅力や人口の定着との関連性を、アンケート調査に基づくデータと空間データとを用いて、都市の要素と定住性との関係性を整理する。</p> <p>本調査により、医療施設や商業施設への移動利便性や通勤通学における公共交通機関分担率、空家率などと都市の人口動態が関係している可能性があること、また、住み続けたい理由には自然環境や買い物利便性、住宅事情・家族・親戚との関係等が、住み続けたくない理由には買い物の不便さや保健・医療・福祉の不便さ、勤務地や通勤通学などの移動の不便さなどが理由として挙がる傾向にあることなど、様々な都市の特性と都市の人口動態との関係性について整理することができた。したがって、当初の目標を達成できたものとする。</p>
② 調査研究内容の妥当性	<p>本調査のように、様々な要素との都市との関係性について、客観的なデータを用いて整理することは、今後の施策を検討する上で議論の土台となる基礎的な情報を提供できるものと考えられる。また、人口減少が続く中、今後の都市政策の展開に向けた示唆を提供できるものと考えられる。すなわち、今後の施策検討にあたり有意義な資料であると考えられる。</p>
③ 調査研究の仕組みの妥当性	<p>調査研究を進める過程で有識者などに意見をいただき、事例研究や対応の検討を重ねながら取りまとめを進めた。</p>
④ 成果と活用	<p>研究成果を報告書の形に取り纏め、当研究所のホームページで広く公表する。</p>
⑤ その他	<p>・調査研究内容を国土交通政策研究所紀要として2編公表し、また、令和4年6月に開催された国土交通政策研究所研究発表会にて報告した。</p>